

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	35-2
PDCA	主要事業名		ストップモーションアニメごん上映事業		部課名		教育部 博物館 新美南吉記念館		担当	三輪	
									内線	26-4888	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策： 文化の振興と継承										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 2,064 千円										
	会計		その他		歳出科目： 09.05.07.10.52						
	事業概要等		新美南吉生誕110年の令和5年度を中心に、館内のビデオシアターにて、ストップモーションアニメごんを上映し併せて記念企画展を行う。市内全小中学生に家族招待券付き案内チラシを配付することにより、多くの市民に鑑賞してもらえる様、来館を促す。								
			事業目的： 数々の賞を受賞し世界的に評価されているストップモーションアニメごんを多くの市民に鑑賞して頂く。								
			事業内容： 館内のビデオシアターにてストップモーションアニメごんを上映（～令和5年度）し、記念企画展を開催する。								
			問題点・課題等： 令和元年に公開されたストップモーションアニメごんは、国内外の映像賞を受賞し世界的に評価されているが、市民の大部分が鑑賞していない。								
	予算額		主要事業とする理由								
	876 千円		令和5年に迎える新美南吉生誕110年記念事業の第一弾として、展示室リニューアルとあわせて行う重要な事業であるため。								
	財源内訳		得られる成果								
市費		展示室リニューアルにあわせてアニメの上映と記念企画展を行い、集客の相乗効果を狙う。									
国費		0 千円									
県費		0 千円									
0 千円		目標値や目指すべき状態									
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位				
		南吉記念館来館者数		実績値	24,820	30,983	—	人			
				目標値	63,000	29,000	73,000	人			
				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							
その他		876 千円									
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果								
	848 千円		生誕110年にあわせた記念館の独自事業として、一般映画館で上映している本作品を当館で上映できることは、とても意義深いことであると自負している。入館料（中学生以下無料）で映画を鑑賞することができるので、映画館で観ることができなかった方、本作品を知らなかった方を含め、一定の集客効果、満足度向上に寄与した。								
			成果指標						令和4年度	単位	
			南吉記念館来館者数				実績値	44,095	人		
							目標値	73,000	人		
C 課題の整理	事業の評価・課題		C 観賞者の評価が高く、喜ばれる一方で、上映する常設ビデオシアタールームの定員が16名のため、休・祝日や、記念館イベント開催時には、立見や鑑賞を諦める方もいる。せっかく記念館に来館したのに本作品を落着いて観ることができない状態も発生しており、多数の来館者であっても鑑賞できるような仕組みを工夫する必要がある。 また、当初借用契約していた配給会社が破産するという想定外の事故が起きたものの、新たな借用契約を締結するまで、破産管財人と調整し、上映を停滞させることなく、来館者に迷惑をかける事態を避けることができた。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進 令和6年3月までの限定権利のため、期間中に、より多数の方に観てもらえるようにする。団体入館者、イベント時等、多数の来館者が見込まれるときは、常設ビデオシアタールームだけでなく、会議室等で上映できるようにする。 また、条件付きで館外上映も可能であるため、これらを利用して鑑賞できる機会を幅広くPRしていく。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
①市の関与の妥当性 妥当			④上位施策への貢献 中程度			⑦コスト削減 余地 ない					
②市民ニーズ 高い			⑤成果向上の余地 ある			⑧受益者負担適正化余地 ない					
③休廃止の影響 小さい			⑥類似事業の有無 ある								